

2019 年度 デジタル・ビジネス研究

第 5 回研究会

開催日： 2019 年 11 月 26 日

テーマ： 中国深圳視察報告

第 1 回～4 回までの振り返りとディスカッション

講師： 三谷 慶一郎 氏 株式会社 NTT データ経営研究所
エグゼクティブオフィサー

議事概要：

- ・ 深圳は、作られてから 40 年足らずで、人口 3 万人から 1400 万人に爆発的に成長した都市。もともと 1980 年代に経済特区に指定され、外資を誘致しながら世界の工場をめざしていた。賃金高騰とともに優位性がなくなりつつあったとき、大きくイノベーション創出を目指す方向に転換した。背景にあるのは「大衆創業・万衆創新」という政策。
- ・ 深圳がたくさんのスタートアップを生み続けている理由としては、「しがらみが少ない若い都市であること」「ビジネスを立ち上げアップデートしていくスピードの速さ」「国全体としてイノベーションのサイコロを振り続けていること（たくさんの人が・高速で）」などがあると考えている。